

令和 6 年度第 3 回社会教育委員会議 要点録

日 時：令和 7 年 3 月 27 日(木) 午後 1 時から午後 2 時 30 分まで

場 所：摂津市立地域福祉活動支援センター 4 階 研修室 3

出席者：委員 5 名、事務局 3 名（生涯学習課職員）

案件

- (1) 令和 7 年度摂津市教育推進プランについて
- (2) 第 5 次摂津市子ども読書活動推進計画について

- (1) 令和 7 年度摂津市教育推進プランについて

（事務局）令和 7 年度摂津市教育推進プランを説明。

（委 員）地域子ども安全安心事業について、取り組み内容に子どもの安全見守りボランティアの登録者数を増やすと記載があるが、目標値が 15 人とは地域の見守り活動の強化につながるものなのか。また、この事業に関わるこども 110 番の家の管理を摂津市立小中学校 PTA が実施しており、PTA ありきの事業内容である。PTA 会員数の減少を考慮しながら、取り組み方を検討していくべきではないのか。

（委 員）せっつ生涯学習大学事業について、指標値を生涯学習大学受講者アンケートで「まちづくりについて考える機会になった」と回答した割合としているが、受講生のその後の活動の後追いをしていないと伺った。取り組み内容が生涯学習のリーダーやコーディネーターを養成するためなのであるから、受講者がその後どのようにまちづくりに関わっているのか調査を実施していくべきである。

（事務局）摂津市教育推進プランは、摂津市教育振興基本計画のアクションプランとして位置づけられている。現行の摂津市教育振興基本計画は令和 7 年度までの計画期間であり、令和 8 年度から新しい計画が策定される予定である。ご意見を踏まえて生涯学習課の施策を計画に反映していく。

(2) 第5次摂津市子ども読書活動推進計画について

(事務局) 令和7年度生涯学習課主要事業を説明。

(委員) 図書館に行かない理由の中に電子書籍を利用しているからという項目があるが、その数値が0%というのは、電子書籍の効果が低いのではないか。電子書籍を導入して数年経つが、閲覧できるジャンルが少なく感じる。他市と連携することで電子書籍蔵書数を増やすことはできないのか。

(事務局) 現在購入している電子図書は1冊の本を1人のみ閲覧可能な図書であるが、1冊の本で複数人が閲覧できる電子図書もあるため、他市連携も含めて検討していくきたい。

(委員) 取り組み方として、ターゲットを明確にしたうえで実施していくべきである。子どもであれば、学校からタブレットを貸与されているため、朝の学習に活用することや、新聞の雑誌記事を用いた自由学習などに活用できると考える。外国人であれば、日本語の学習にも活用できる。幅広く実施するのではなく、データを収集しターゲットごとに実施していけば、効果的な取り組みが実施できると考える。

(事務局) 策定した第5次摂津市子ども読書活動推進計画をもとに、取り組み方について、図書館の指定管理者を含めて検討していきたい。

以上